

平成 27 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 シーズメン
代表者名 取締役会長兼社長 梶島 正司
(JASDAQ・コード 3083)
問合せ先 経営管理部長 保住 光良
(TEL 03-5623-3781)

平成 28 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正、配 当 予 想 の 修 正 (無 配)、特 別 利 益 の 計 上 お よ び
繰 延 税 金 資 産 取 崩 し に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 9 月 30 日に公表いたしました業績予想および平成 27 年 4 月 2 日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成 28 年 2 月 期 第 3 四 半 期 決 算 に お いて 特 別 利 益 の 計 上 と 繰 延 税 金 資 産 の 取 崩 し を 行 っ た の で、併 せ て お 知 ら せ いた します。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 28 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 27 年 3 月 1 日 ~ 平 成 28 年 2 月 29 日)

(単位: 百万円, %)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,730	80	60	20	25.33 円
今 回 修 正 予 想 (B)	6,230	△100	△120	△280	△354.61 円
増 減 額 (B-A)	△500	△180	△180	△300	-
増 減 率 (%)	△7.4	-	-	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 27 年 2 月 期)	6,832	△6	△16	△93	△118.24 円

(2) 修正の理由

当第 3 四 半 期 累 計 期 間 に お いて、当 社 は、販 売 面 で は 店 舗 活 性 化 な ど に よ る、売 上 の 拡 大 を 目 指 し、商 品 面 で は 主 力 アイテム投入の早期化等による、荒利率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は、既存店で前年比 93.4%、計画比では 96.1%となりました。荒利率は、49.2%となり、前年を 0.2 ポイント上回りましたが、計画からは 0.4 ポイント下回りました。

売上高が前年を下回る状況となりましたが、秋物では、気温の低下が早かったことにより、アウターが好調に推移したものの、シャツ・パンツ・和柄商品などで、売れ筋となった商品群の仕入数量が少なかったことによる品不足もあり、全社的な売上増に至りませんでした。冬物では、ウール・ダウン・レザーなどの早期投入を行い、防寒物の拡充を図ることにより冬の商戦に備えましたが、11 月の高気温の影響もあり、動向は鈍く、販売は苦戦を強いられました。

以上の結果、当第 3 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 は 計 画 を 下 回 る 推 移 と な り、ま た、今 後 に つ き ま し て も、冬 物 の 販 売 に 大 き な 伸 び は 見 込 め な い 状 況 で あ る と 認 識 し て お り、平 成 28 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 の 売 上 高、営 業 利 益、経 常 利 益、当 期 純 利 益 を 修 正 す る こ と と い た し ま し た。

2. 配当予想の修正

(1) 平成 28 年 2 月期配当予想数値の修正

基 準 日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想	0.00 円	10.00 円	10.00 円
今 回 修 正 予 想	0.00 円	0.00 円	0.00 円
前期実績(平成 27 年 2 月期)	0.00 円	0.00 円	0.00 円

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元は経営の重点課題のひとつと認識しており、中長期的に利益成長を続け、業績に連動した配当を実施することを基本方針としております。

平成 28 年 2 月期の業績予想は、当期純損失となる見込です。かかる状況に鑑み、経営資源を事業活動に集中し、早期の業績回復を最優先とするため、誠に遺憾ではございますが期末配当を見送らせていただくことといたしました。

3. 特別利益の計上

貸倒引当の会計処理をしておりました長期債権を一括回収したことに伴い、当第 3 四半期会計期間において特別利益 64 百万円を計上しております。

4. 繰延税金資産の取崩し

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当第 3 四半期会計期間において、繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等調整額 170 百万円を計上しております。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。